

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

畜産課長

電話番号

0852-22-5132

事務事業の名称	産業動物臨床獣医師確保支援事業	
目的	(1) 対象	産業動物臨床獣医師確保を図るため修学資金貸与事業を行う畜産団体
	(2) 意図	畜産団体が実施する修学資金貸与事業への助成を行うことにより、産業動物分野の新規臨床獣医師の確保を促進し、本県の獣医療体制の維持を図る。
事業概要	本県の産業動物診療、特に牛については主に家畜診療所が主体となって実施しており、本県の肉用牛振興上、必要不可欠な機関の一つである。近年の退職者数が多い期間における産業動物臨床獣医師の確保を図るため、畜産団体が実施する修学資金貸与事業への助成を行うことにより、産業動物分野の新規民間獣医師の確保を促進する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 産業動物臨床獣医師修学資金貸与者数	目標値		5.0				人
		取組目標値						
	式・定義 貸与決定者/貸与予定者×100	実績値	3.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	1,800	3,000
うち一般財源(千円)	1,800	3,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

家畜診療所へ就職を希望する新卒者が少なく、その確保が厳しい状況が続いている。このため退職者の再雇用により定員数を維持している状況が続いているが、将来的に安定した年齢構成にするためには、新卒者の採用が必要となっている。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

H27年度は1名の修学資金貸与を開始し、数年後の新卒者の確保につながった。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
  - ・本事業はNOSA家畜診療所の採用者を確保するために実施する修学資金貸与制度に県として補助しているが、家畜診療所が希望する貸与者数が確保出来ておらず、将来的な採用者確保に苦慮している状況が続いている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
  - ・近年の獣医学生の就職先として、小動物診療を志す学生が約半数を占めており、産業動物臨床獣医師を希望する学生が少ないため、学生を各県の家畜診療所が取り合っている。
- ③原因を解消するための「課題」
  - ・修学資金貸与制度は新卒獣医師確保に有効な手段の一つであり、この制度のより一層の周知を図ることが必要である。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

事業実施主体(畜産振興協会)やNOSA家畜診療所が行う修学資金貸与者募集活動に協力し、大学就職説明会やインターンシップなどで連携した取り組みを行い、貸与者の確保を促進することで、NOSA家畜診療所の確実な新規採用者確保につなげる。

9. 追加評価(任意記載)